

新型コロナウイルス抗体検査 (IgG)

《費用》

この検査の費用は保険適用外で、10,000円（税込）になります。

《受付日時》

毎週月曜日～土曜日の10：00～16：00（最終受付15：30）で予約可能です。

お電話かWeb予約にてお申し込み下さい。

ご不明点、ご質問等ございましたら、下記までお問い合わせください。

土屋記念クリニック

電話 045(911)3232（10：00～16：00<日・祝日除く>）

Web [予約はこちら](#)

予約メニューから「保険適用外診療（自費診療）」をお選びください。

《当院で行う抗体検査について》

当院で行う新型コロナウイルス抗体検査（IgG）は、採血（約2mL）による血液検査です。定量検査（精密検査）であり、採血した検体を検査会社（BML）に委託して行います。そのため、定性検査（簡易検査）と違い、結果の判明までに2～3日かかります。抗体検査で使用する試薬は、厚生労働省が実施する新型コロナウイルスの抗体検査と同じアボット社研究用試薬（ARCHITECT SARS-CoV-2 IgG）を用いて測定を行います。アボット社のIgG抗体試薬は米国において米国食品医薬品局（FDA）より緊急使用許可を、欧州連合よりCEマークを取得し、広く使用されています。陽性一致率100%（ただし、発症後14日以上経過している場合）、陰性一致率99.63%とかなり正確性の高い検査試薬です。検査結果につきましては、説明文とともにご自宅に郵送させていただきますので、ご確認をお願いいたします。

《こんな方が対象となります》

- ① 今まで自覚症状はないものの、過去に新型コロナウイルス感染があったか心配な方
- ② 過去に風邪症状があったが現在は改善していて、それが新型コロナウイルス感染だったか心配な方
- ③ 会社出勤や学校再開に向けて、自身に新型コロナウイルスの抗体があるか確認したい方

※IgG 抗体検査は、新型コロナウイルス感染症に罹患済み（かかったことがある）かどうかを調べる検査であり、現在罹患しているかどうかを調べる検査ではありません。現在発熱や肺炎症状がある方は、PCR 検査をおすすめしております。（当院で PCR 検査は行っておりません。）

《新型コロナウイルス IgG 抗体とは》

抗体とは、ウイルスなどの病原体が体内に入った時に、特異的に反応する物質です。抗体が作られ、外から侵入した病原体を攻撃する仕組みを「免疫」といいます。予防接種でワクチンをうつ目的は、ワクチンによって体内に抗体を作り身体を守るための免疫を作ることにあります。抗体の中で、感染症の診療に必要なのは2種類で、それは IgM と IgG という抗体です。IgM 抗体は病原体が侵入した後に最初に作られ陽性となる抗体で、IgG 抗体は発症からしばらく経過してから陽性になります。

新型コロナウイルス感染症においては、現時点では IgM 抗体および IgG 抗体はいずれも発症早期には陽性とならない可能性が高く、発症早期の患者さんの診断に用いることは推奨されていません。IgM 抗体については偽陽性も少なくないため、IgM 抗体陽性のみでは新型コロナウイルス感染症を確定診断することはできません。一方で、発症から時間が経過した方では IgG 抗体の陽性率が非常に高いため、既感染（かかったことがある）の確認には有用であると考えられています。

《IgG 抗体検査の目的について》

新型コロナウイルス感染症は、感染していても自覚症状がなく、かかったことに気づかない軽症例が過半数を占めているといわれています。つまり、PCR 検査による確定診断に至った感染者数よりも、実際の感染者数は多いのではないかと推測されています。（発表されている感染者数の数十倍の方が実際には新型コロナウイルスに感染しているのではないかと考えられています。） IgG 抗体検査を行う目的は、気がつかないうちに新型コロナウイルスに罹患した（かかったことがある）かどうかを調べるための検査であり、健康診断的な意義があります。

欧州では、抗体検査で新型コロナウイルスにかかった人々を特定して、「証明書（Immunity Passport）」を発行し、社会復帰を促すことも検討しています。しかし、

- ① 「既感染者」が「免疫獲得者」であるか現時点では不明であること
 - ② 抗体が陽性であっても再感染を否定できないこと
- 等が指摘されており、課題も多くあります。

《検査結果の解釈について》

① 新型コロナウイルス IgG 抗体 (+) (Index : 1.40 以上)

新型コロナウイルスに罹患済み (既感染) の可能性が高いです。

症状が消失していれば治癒している可能性が高く、周囲に感染させるリスクも低いと考えますが、**発熱や肺炎症状がある方は、新型コロナウイルスに現在罹患 (発症早期) している可能性が高い (周囲に感染させるリスクが高い) ため、PCR 検査をおすすめします。**

② 新型コロナウイルス IgG 抗体 (-) (Index : 1.40 未満)

IgG 抗体が陰性であっても、新型コロナウイルス感染の可能性を否定することはできません。(IgG 抗体は発症早期には陽性とならない可能性が高く、発症早期の患者さんの診断に用いることは推奨されていません。)